



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 防虫科学 1974, 39(1)

ISSUE DATE:

1974-02-28

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/158830>

RIGHT:

防虫科学

季刊

第 39 卷—I

原 著

1. ピレスロイド系化合物の研究 (第4報) フラメスリンの熱挙動
安部八洲男・板谷信重・藤田義雄・村本 昇…… 1
2. 殺虫剤の効力増進に関する基礎的研究 (第12報)
2種ピレスロイドの混用効果について
林 晃史……10
3. 高知県下におけるイエバエの殺虫剤感受性について (第3報)
林 晃史・廿日出正美・堀内和美・松崎沙和子……12
4. 3週間連続投与した ^{14}C -pyridafenthion, *O,O*-diethyl-*O*-(3-oxo-2-phenyl-2H-pyridazine-6-yl) phosphorothioate, のマウスにおける代謝
宇田川隆敏・宮田 正・斎藤哲夫……15
5. ビス-(*O,O*-ジメチル-チオノ-ホスホリル) ジスルフィドの熱分解反応について
鴨下克三・西沢吉彦……18
6. Bis-(*O,O*-dimethylthionophosphoryl)-disulfide の熱分解
前川一之・首藤義博・谷口栄二・三好康之……21

綜 説

ゴキブリの生殖

北村実彬……28

抄 録

……27, 46

財団法人 防虫科学研究所

京 都 大 学 内

昭和49年2月

防 虫 科 学

編 集 委 員

主 幹 武 居 三 吉

藤 田 稔 夫 深 海 浩 井 上 雄 三 石 井 象 二 郎

中 島 稔 高 橋 史 樹 高 橋 正 三 内 田 俊 郎

投 稿 規 定

1. 防虫科学に関する研究論文、綜説ならば誰でも投稿できる。ただし原稿の取捨は編集委員会できめる。また原稿の字句については加除修正を行なうことがある。
 2. 論文は邦文または欧文とし、邦文には欧文の、欧文には邦文の要約を添える。表題、著者名および所属機関名などは邦文・欧文両者を併記する。
 3. 邦文原稿は原則としてA4判横書原稿用紙(400字詰)を用いる。欧文はタイプライター用紙にタイプライターでダブルスペースに打つ。邦文原稿の写真、表および図の説明は欧文とする。
 4. 邦文は平かな、新かな使いとし、欧語音読には片かなを用いる。ただし物質名、人名などは欧文のままとする。図は白紙または罫線方眼紙にていねいに墨書し、原稿とは別紙とする。
 5. 動植物の学名の下には_____を付ける(例: *Chilo suppressalis* イタリックとなる)。和名は片かなを用いる。数字はすべてアラビア数字を用い、数量の単位はメートル法による。単位および術語の略字は本誌刊誌を参照されたい。
 6. 句読点、カッコは1画を与える。ハイフンは区画の罫線の上に明瞭に書く。本文中の引用文献番号はカッコを付けて肩に小さく書く。文献は論文の最後に通し番号の順に列記し、著者名、雑誌名(書名)、巻、頁、年号の順に記し、巻数には_____を付ける(例: (1) Stevenson E. and G. R. Wyatt : Arch. Biochem. Biophys. 99, 65, 1966)。邦文雑誌名は日本化学総覧、欧文雑誌名は Chemical Abstracts, Biological Abstracts の規定の略名に従う。
 7. 校正は原則として初校に限り著者が行なう。
 8. 原稿の送付には送状を付し、発送年月日、連絡先、原稿枚数、写真および図・表数、別刷希望数などを記入する。原稿の郵送は書留とし、校正は速達とする。
- 投稿その他の編集に関する連絡は下記にされたい。

606 京都市左京区北白川 京都大学農学部

農業研究施設 石井象二郎 (075) 751-2111 内 6 3 0 5

購読料値上げおよび投稿規定の一部改定について

「防虫科学」は発刊以来わが国の害虫防除に関する学術雑誌として内外に広く認められ、順調に刊行を続けて参りました。学術雑誌の使命に鑑み、これまで年間購読料を個人会員1,500円、団体会員3,000円として運営いたしてきましたが、最近の印刷費その他諸物価の高騰により従来の会費ではとうてい刊行できなくなりました。つきましては昭和49年度より下記の通り値上げいたしたく存じますので、何とぞ御賢察の上引続き購読下さるようお願いいたします。

なお、従来掲載論文につきましては、別刷50部を贈呈いたしておりましたが同様の理由により昭和49年度より贈呈分をとりやめることになりました。別刷作成は100部以上とし当分100部までは一頁あたり15円、100部をこえる場合は一頁あたり10円の計算によって実費を申受けることとなります。また図版製作費につきましても実費を御請求申上げることになりました。したがって従来の投稿規定第8項は昭和49年度より適用されなくなりますが、何卒御了承いただきたく存じます。

記

個 人 会 員 2,000円

団 体 会 員 3,500円

財団法人 防虫科学研究所

賛助会員

小林政株式会社
三共株式会社
住友化学工業株式会社

大日本除虫菊株式会社
武田薬品工業株式会社

維持会員

アース製薬株式会社
宇部興産株式会社
大阪化成株式会社
大塚製薬株式会社ゾエコン課
科研化学株式会社
化研工業株式会社
花王石鹼株式会社
協和醗酵工業株式会社
キング化学株式会社
クミアイ化学工業株式会社
呉羽化学工業株式会社
サンケイ化学株式会社
三洋化成工業株式会社
塩野義製薬株式会社
大正製薬株式会社
高砂香料工業株式会社
株式会社立石春洋堂
トモノ農薬株式会社

長岡駆虫剤製造株式会社
長瀬産業株式会社
日産化学工業株式会社
日本化薬株式会社
日本曹達株式会社
日本特殊農薬製造株式会社
日本農薬株式会社
フマキラー株式会社
北興化学工業株式会社
三笠化学工業株式会社
三菱瓦斯化学株式会社
八洲化学工業株式会社
株式会社柳本製作所
山本農薬株式会社
吉富製薬株式会社
ライオンかとり株式会社

(五十音順)

昭和49年2月20日印刷 昭和49年2月28日発行

防虫科学 第39巻—I 定価 ¥ 1000.

個人会員年2000円 団体会員年3500円 外国会員年U.S. \$10

編集者 藤田稔夫 石井象二郎
606 京都市左京区北白川 京都大学農学部

発行所 財団法人 防虫科学研究所
京都市左京区北白川 京都大学農学部内
(板付口座・京都5899)

印刷所 昭和印刷
京都市下京区猪熊通七条下ル

“SCIENTIFIC PEST CONTROL”
BOTYU-KAGAKU

Bulletin of the Institute of Insect Control

Editor Sankichi TAKEI

Editorial Board

Toshio FUJITA, Hiroshi FUKAMI, Yuzo INOUE, Shoziro ISHII,
Minoru NAKAJIMA, Fumiki TAKAHASHI, Shozo TAKAHASHI, Syunro UTIDA

CONTENTS

Originals

1. Studies on Pyrethroidal Compounds Part IV.
Thermal Behavior of Furamethrin.
Yasuo ABE, Nobushige ITAYA, Yoshio FUJITA and Noboru MURAMOTO..... 1
2. Studies on the Increment of the Efficacy of Insecticides Part XII.
On the Effects of Combining two Pyrethroids.
Akifumi HAYASHI.....10
3. The Resistant Level of the Housefly to Several Insecticides in
Kochi Prefecture, Japan Part III.
Akifumi HAYASHI, Masayoshi HATSUKADE, Kazumi HORIUCHI
and Sawako MATSUZAKI.....12
4. Metabolism of Continuous Three Weeks Administered ¹⁴C-Pyridafenthion,
O,O-Diethyl-*O*-(3-oxo-2-phenyl-2H-pyridazine-6-yl) Phosphorothioate,
in Mouse.
Takatoshi UDAGAWA, Tadashi MIYATA and Tetsuo SAITO.....15
5. Thermal Decomposition of Bis-(*O,O*-dimethylthionophosphoryl) disulfide.
Katsuzo KAMOSHITA and Yoshihiko NISHIZAWA.....18
6. Thermal Decomposition of Bis-(*O,O*-dimethylthionophosphoryl) disulfide.
Kazuyuki MAEKAWA, Yoshihiro SHUTO, Eiji TANIGUCHI
and Yasutaka MIYOSHI.....21

Review

- The Reproduction of the Blattaria.
Chikayoshi KITAMURA.....28

Abstracts

.....27, 46

Published by
THE INSTITUTE OF INSECT CONTROL
Kyoto University
Kyoto, Japan